

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連 (北関東)		商店街（代表者）	来客数の動き	・大河ドラマも残り3か月を切ってきたが、秋の行楽シーズンも衰え知らずで、連日観光バスが駐車場に入りきれないほどの盛況である。
		コンビニ（経営者）	競争相手の様子	・近隣のコンビニが閉店したので、客がこちらに流れてきている。
		都市型ホテル（副支配人）	販売量の動き	・例年10月は繁忙月だが、今年はインパウンドも含めた団体客が非常に多い。またインターネット予約も好調で、近年まれにみる状況となっている。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・店全体に占める婦人服の売上構成比が高く、全体で見ると前年割れの状況だが、婦人服以外は前年の売上に迫る勢いとなっている。3か月前と比べればやや改善してきている。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・ここ1年くらいは、それほど景気が悪いと意識することも少なくなり、来客数や客単価が多少改善してきているので、最悪の時期は終わったと少し安心感が出てきたようである。
		都市型ホテル（営業担当）	販売量の動き	・県内に3店舗あるが、全体的に今月のホテルの稼働率は上がっている。前月まで多少頭打ちであったが、現時点では良くなっている。
		通信会社（店長）	お客様の様子	・販売は増えている。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・以前からの客の来店頻度が低下している。街の文化祭参加品の購入の動きはあったが、新規客は増えない。2日間のイベントでは、初日は天候が良く驚くほど人出があったものの、2日目は寒くて人出はさっぱりである。
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・今月も祭典や運動会、各イベントが毎週のように行われ、客もそれにつられて、少し元気が出ているような感じである。ただ天候不順で雨天が多く、また、秋の日はつるべ落として日暮れが早くなり、高齢者はあまり街に出てきてくれない。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・客に消費意欲はなく、必要な物への出費、買換え需要のみである。これと言って消費者の購買意欲を引き出す商品もないので売上を維持していくのが精一杯である。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	販売量の動き	・客の動きは少々回復してきているようだが、まだ販売には結び付いていない。
		スーパー（統括）	販売量の動き	・最低気温が15度を下回る日は、前年の24日間のうち19日に対し、本年は11日と少なく、衣料品、食料品とも秋物の動きが悪い。それに加えて、野菜価格高騰の影響もあり、来客数は前年並みで単価は上昇しているものの、1人当たりの買上点数の落ち込みにより売上は前年を割り込み、消費者の節約志向が一層顕著になってきている。
		スーパー（商品部担当）	お客様の様子	・当社のイベントや改装などが続き、予想以上の集客反応があった。既存店では、その時だけ数値が上昇するものの、継続性がみられない。
		コンビニ（経営者）	競争相手の様子	・当店の1キロ以内に、競合するコンビニが2軒、ファミレスが1軒出店している。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・月前半は気温が比較的高く推移したため、来客数が増えて、今月は良かった。ただし、流れとしては、特別大きな変化はない。
		乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・車検や修理は順調に入庫しているが、販売は低迷している。客からは、無理はできないという声が多に多い。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・乗用車系の販売台数が伸びていない。それに加えて中型車以上の貨物車は納期が数か月から6か月以上かかるものもある。景気が末端まで届いていない感じである。
		乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・高齢化により自動車を手放す人も多く、車検台数は伸び悩んでいる。
	乗用車販売店（販売担当）	来客数の動き	・来客数は以前より多くなっていると思うが、従来は簡単に決まっていた商談が、なかなか決まらない。思い切って値引きしないと決まらないので、これからは良くなるとは思わない。	

乗用車販売店 (販売担当)	販売量の動き	・今のところ新車は特に出していないが、中古車販売も受注台数が徐々に減っているような気がする。販売は伸び悩んでいるものの、修理関係は車検、一般整備共に、順調に入庫がある。販売が少し尻すばみである。
乗用車販売店 (管理担当)	販売量の動き	・自動車販売は大手自動車メーカーの燃費不正問題発覚以降、軽自動車の販売はやや低迷している。少子高齢化による自動車離れも影響している。また、大手自動車メーカーの販売停止も多少影響している。
その他専門店 [燃料](従業員)	販売量の動き	・売上、受注共に、微増となっている。
一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・行楽シーズンに入り、客の動きは感じられるものの、天候不順の影響もあり、売上は前年並みである。
一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・ランチの来客数はさほど変わらないが、ディナーの来客数は大幅に減っているため、売上がなかなか伸びない。
一般レストラン (経営者)	販売量の動き	・相変わらず動きが鈍い。
スナック(経営者)	お客様の様子	・今月も本当に景気が良くない状況であり、8月以降変わらない悪さである。客の様子と回答したが、競争相手の様子も気になるところである。競争相手が、ここへ来てますます多くなっている。
旅行代理店(所長)	来客数の動き	・相変わらず、訪日外国人の来訪数は堅調であるものの、そのほとんどが首都圏をベースとした日帰り旅行者である。また、食事等の消費支出もあまり期待できない。
旅行代理店(従業員)	お客様の様子	・来客数が増えていない。
旅行代理店(副支店長)	お客様の様子	・景気は決して良くなっていないし、受注も低迷している。天候不順や熊本地震、鳥取県中部地震の影響で風評被害もあり、受注が伸びていない。行楽シーズンだが客足が鈍く、前年と変わらない。
タクシー運転手	お客様の様子	・午前中はタクシーの台数が少なく、多少動きがあるものの、午後から夜、深夜の利用客は少なくなっている。社用で領収書をもたらっていく客も減少している。
タクシー運転手	販売量の動き	・夜飲みに出る人が多いとか、昼間大きな催し物でもあれば数字に大きな変化があるが、それほど変わっていない。
タクシー(役員)	お客様の様子	・人の流れが悪い。
通信会社(経営者)	お客様の様子	・節約志向が高まってきたのか、保留、解約が高齢者世帯以外にも増えてきている。
通信会社(経営者)	販売量の動き	・販売量の増減なく横ばいである。
通信会社(営業担当)	販売量の動き	・新築物件の契約数が低下している。9月決算期の影響がある。
テーマパーク (職員)	来客数の動き	・前年の災害による来客数減少の反動を期待していたが、効果がみえない。
観光名所(職員)	来客数の動き	・今年は天候不順の影響で紅葉の色付きが悪く、またカレンダーの曜日の並びが良くなかったこともあり、国内観光客の出足は鈍い。インバウンドのツアーは比較的好調である。
ゴルフ場(経営者)	単価の動き	・安かろう悪かろうの競合他社から当社に客が戻ってきている。金融機関や企業のゴルフコンペが増えている。
ゴルフ場(支配人)	お客様の様子	・秋のゴルフシーズンを迎え、前年並みの安定した予約状況である。平日はやはりシニア層の来場が目立ち、元気にセルフプレーを行っている。健康を意識した言動が多い。
ゴルフ場(総務部長)	来客数の動き	・ゴルフのトップシーズンとなり、入場者数は3か月前より増加しているが、前年と比べるとほぼ変わらない状況で、景気が良くなっているとはいえない。
競輪場(職員)	お客様の様子	・入場者数、購買単価共、それほど変化がみられない。
美容室(経営者)	来客数の動き	・事務機の展示会に行ったが、客は結構入っていたものの、契約は取れていないと担当者から聞いている。また、美容院の既存店も低金利にかかわらず、店の設備投資、什器備品の買換えをあまり行わない状況が続いている。

	その他サービス 〔葬祭業〕（経営者）	お客様の様子	・葬儀や葬儀依頼、相談などの来客も一段落した感じである。
	その他サービス 〔立体駐車場〕（従業員）	お客様の様子	・来客数、単価共に横ばいで、同じような状況が続いている。相対的に販売量の動きも変わらず、各テナントの販売量等もほとんど横ばいのため、変わらない。
	その他サービス 〔イベント企画〕（職員）	お客様の様子	・客の動きは例年並みで、状況はあまり変わっていない。
	設計事務所（経営者）	販売量の動き	・計画物件は少し増えたが、仕事になるまで時間がかかっている。
	設計事務所（所長）	来客数の動き	・3か月は予算達成している。今月も変わらず好調である。
	住宅販売会社（経営者）	販売量の動き	・売買の案件自体が少なく、変わらない。
	住宅販売会社（経営者）	競争相手の様子	・最近では建売業者の動きも悪く、しゅん工したままの軒数が、かなり目立ってきている。街の中心部の飲食店は、少し元気になってきている感じがするものの、アパート、マンション等は、相変わらず空室が多く埋まらない。
	商店街（代表者）	来客数の動き	・街の人通りが少ないのは仕方ないが、全く人影のない時間帯が長いには困ってしまう。イベントへの反応も鈍く、集客には結び付かない。
	商店街（代表者）	お客様の様子	・秋の農協祭の売出しへ出店をするが、消耗品や食品以外は以前のように売れないし、客も買わない。販売量も極端に減少している。
	商店街（代表者）	来客数の動き	・毎年、運動会が終わると暇になってはくるが、当地でも3～4年前に出店した大型店が、じわじわと浸透してきて、古い店からだんだんと客が遠のいていくような時代になってしまっている。
	一般小売店〔衣料〕（経営者）	販売量の動き	・当地は今、紅葉シーズンで自動車はたくさんきているが、商売につながるような売上にはなっていない。
	一般小売店〔青果〕（店長）	お客様の様子	・9月下旬からだが、今月も野菜が非常に高く、来店する客も初めから野菜を買う気がない状況である。
	百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・婦人、紳士アパレルの不振が恒常化している。前月に続き好調に推移している大型物産展などもあるが、それ以上にアパレルの不振が顕著であり、売上を確保できていない。
	百貨店（副店長）	販売量の動き	・今月は天候にも恵まれ、来客数はわずかではあるが前年を超えている。朝晩ようやく気温も低くなってきたので、秋物が売れるのではないかと期待していたが、衣料品は相変わらず浮上する気配すらない。また9～10月に改装した売場は集客、売上に効果を上げているが、買い回りにはなかなかつながらず、店舗全体では純増になっていない。
	スーパー（経営者）	販売量の動き	・野菜の高騰により消費が減退している。
	スーパー（総務担当）	来客数の動き	・売上は前年比9割程度が続くなか、来客数は100%を超えていたが、今月は来客数も9割程度となってしまっている。客が本当に必要な物しか買わない傾向がますます顕著になってきている。
	コンビニ（経営者）	単価の動き	・季節変動で3か月前に比べて、売上、来客数が減ると想定していたところ、やはりいろいろなスポーツ大会や、テレビによる観光客が増えたにもかかわらず、今一つ、業績は上がっていない。
	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・来客数で景気の良し悪しを決めると、暮れに向かって景気は上向きに感じているが、3か月前の夏はイベントや行楽のシーズンであり来客数が多いため、比較すると今月の来客数は減っている。
	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・近隣工場でリストラがあり、やや悪い。
	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・前年に比べて、売上、来客数共に微減である。前年は近隣で大型工事があり、特需的要素で来客数が極端に増えたため、その分、今年度は減っている。
	衣料品専門店（販売担当）	お客様の様子	・買物に来て、必要最小限にとどめ、その他に欲しくなったら困るという雰囲気、商品を見ないようにしている客が、かなり多い。その他、来客数も少なく、じわじわと悪くなっている。
	家電量販店（店長）	単価の動き	・最近単価が下がっている商品は、テレビ、洗濯機などである。他の商品も前年比、下落傾向で、突出して単価の高い商品群はない。

	乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・9月決算期の反動で受注状況が良くない。
	自動車備品販売 店(経営者)	販売量の動き	・10月は販売量が伸びなかったが、それ以前に人の動きや来客数も若干少な目だったようである。
	住関連専門店 (経営者)	販売量の動き	・仕入単価が上昇しているため販売単価も上昇しているが、来客数、販売点数共に微減傾向で、トータルの売上、粗利は減少している。全体的に景気の停滞感は否めない。
	住関連専門店 (仕入担当)	来客数の動き	・季節商材を中心に売上が伸びない。前年度のプレミアム付商品券による売上が今期は大きく響き、来客数の減少要因である。
	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・飲酒を伴う宴会が非常に少ない。
	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・毎年恒例のディナーショーなどの企画で、チケット販売時の客の反応がすこぶる悪くなってきている。特に法人の接待利用分が悪い。福利厚生で従業員の慰労、懇親需要は逆に増えており、人の囲い込みのためにお金を掛けている様子が見える。
	観光型旅館(経営者)	販売量の動き	・前年はふるさと旅行券があり、普段旅行をしない人もこれを利用して旅行をしたため需要は増えたが、今年はないため、売上が減少している。
	タクシー(経営者)	お客様の様子	・昼も夜も動きが悪く、前年同月と比べて9%の減少である。
	その他サービス [自動車整備業](経営者)	競争相手の様子	・小型自動車の保有台数が減少するなか、整備業の各社が顧客獲得に走り優劣が決まり始めている。ディーラーが有利な状況は動かないものの、自動車整備専門は生き残りをかけてしのぎを削っているため、1台当たりの客単価は下がる一方で、今のところ回復の兆しはみられない。当業界へ自動車用品店、ガソリンスタンドなどからの参入が止まらない現状で、前月に比べてもやや悪くなっている。
	×	百貨店(店長)	販売量の動き
	×	スーパー(副店長)	お客様の様子
	×	都市型ホテル (スタッフ)	来客数の動き
	×	通信会社(経営者)	販売量の動き
企業 動向 関連 (北関東)		輸送用機械器具 製造業(経営者)	受注量や販売量の動き
		食品製造業 (営業統括)	競争相手の様子
		化学工業(経営者)	受注量や販売量の動き
		窯業・土石製品 製造業(総務担当)	受注量や販売量の動き
		一般機械器具製 造業(経営者)	取引先の様子
		その他製造業 [環境機器] (経営者)	受注量や販売量の動き
		建設業(総務担当)	受注量や販売量の動き
		不動産業(管理 担当)	受注量や販売量の動き
		食品製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き
		窯業・土石製品 製造業(経営者)	受注量や販売量の動き
	電気機械器具製 造業(経営者)	受注量や販売量の動き	

	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・前年に比べれば、仕事の確保をしやすくなったが、継続的な仕事は少なく、なかなか上昇する気配はない。	
	電気機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・取引先のほとんどの営業マンから、「ここ数か月売上が伸びずに苦戦している」という話をよく聞く。	
	輸送用機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・取引先は十数社あるが、やや良いところ、やや悪いところ、変わらない会社それぞれあるので、相対的にあまり変わらない。	
	輸送業（営業担当）	取引先の様子	・9月の台風、長雨等の被害が響き、農産物の集荷量が減って、輸送量も前年より2割ほど落ち込んでいる。また、売筋商材も少なく、冬物家電等の荷動き、エアコン、こたつ等も予定より落ち込んでいる。	
	金融業（調査担当）	取引先の様子	・県内企業へのアンケート調査では先行きに対する慎重な姿勢が続いており、横ばいの状況となっている。	
	金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・観光業では外国人観光客が団体から個人に変化していることから、全体的に減少している。その他の業種は変わらない。個人消費は、台風や長雨などの天候不順の影響で客足が落ち込んだことから、盛り上がりを欠く状況が続いている。	
	広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・夏から秋にかけての広告宣伝が目立った上昇はなく、受注量も前年と変わらない。特に、折込チラシの出稿は1割程度減っている。その一方、ホームページのリニューアルは増えてきているようである。	
	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	受注量や販売量の動き	・今月のチラシ出稿量は、前年比89.7%と大きく下回っている。特段悪い業種は見当たらず、全般的に落ちている。百貨店も来客数は伸びていないとの話を聞いている。	
	経営コンサルタント	取引先の様子	・秋の長雨、台風などが繰り返し来たため、例年のような秋らしい天候にならず、食関連他、消費全体があまり盛り上がらなかったようである。	
	司法書士	受注量や販売量の動き	・一進一退というところである。5～6年前に少し持ち直して横ばいとなってから、ほとんど変わらないような感じである。	
	社会保険労務士	取引先の様子	・週末の天候が悪かったため、小売業は客足、売上に影響の出ているところもある。	
	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・特段の変化はみられない。	
	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・10月に入り、遅れていたクリスマスセール発注がやっとなるようになったものの、注文数の減少や納期、価格共に厳しくなっている。広告品は売れるが、通常品は売れない。	
	×	食料品製造業（製造担当）	取引先の様子	・代金の支払が悪くなっている。
	×	電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・主要取引先の電話システムの新機種開発が遅れており、現在生産中の機種についても、生産量が下降気味で推移している。
	×	建設業（開発担当）	受注量や販売量の動き	・当社は公共工事が主体で95%を占めている。現政権3年間で公共工事は前年増で推移してきたが、今期は前年比85%の発注と大変厳しい。特に比率の半分を占める市町村発注が前年比73%と信じられない状況である。当社の受注も同15%減と厳しく、赤字計上になりかねず、大変心配である。建設業は10年以上続いた不況業種で、賞与支給が出来ない状態である。
雇用 関連 (北関東)	-	-	-	
	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・こここのところ多少仕事が忙しく、求人頼まれていいる。売上は増える予定である。	
	人材派遣会社（支社長）	求人数の動き	・繁忙、繁閑にかかわらず、採用意欲は高い。オーダーがなくても良い人材であれば、ある程度話を聞いてくれる企業が多くなっている。	
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・各月に新規求人の増減はあるが、求人手続き上の更新の月ずれ等が、ほとんどの理由であり、月間有効求人数では、ほぼ今月まで増加傾向にある。前年同月比も上回っている。	
	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・求人数の動きだが、自動車の機械部品、一般機械部品、電子の一部では募集がみられた。それ以外ではサービス業の介護職、看護職、販売小売サービスの販売が目立っている。、また多少、台風の影響もあったせいか、小売は伸び悩んでいるような感じである。	

	人材派遣会社 (社員)	求職者数の動き	・当社で募集をかけても、なかなか反応がない。人手不足はいろいろな原因があるが、他社の求人広告をみても、仕事がたくさんあり、なかなか人が集まらない。当社は非常に地味な仕事なので、まず他の仕事で埋まってから、当社にという流れが多い。他社での人手不足に鑑みると仕事がない状況ではない。
	人材派遣会社 (管理担当)	求人数の動き	・求人数に変化はなく、不足求人は補充できず、更に求人が出る状況である。
	人材派遣会社 (営業担当)	雇用形態の様子	・相変わらず、最低賃金をわずかに超える求人募集が多いためか、労働者の働く意欲が湧かない。
	求人情報誌製作 会社(経営者)	周辺企業の様子	・求人募集は相変わらず低迷している。企業、店など人手不足で困っているところは多くあるものの、応募があまりないので積極的に募集をしていない。
	職業安定所(職員)	求職者数の動き	・求人は増えており、その一方で求職者の減少が穏やかになっているため、増加の兆しがある。
	職業安定所(職員)	求人数の動き	・求人数は前年同月比14.1%増となっているが、派遣、臨時などの求人増加によるもので、一般常用求人は8か月ぶりにマイナスとなっている。
	*	*	*
x	-	-	-